

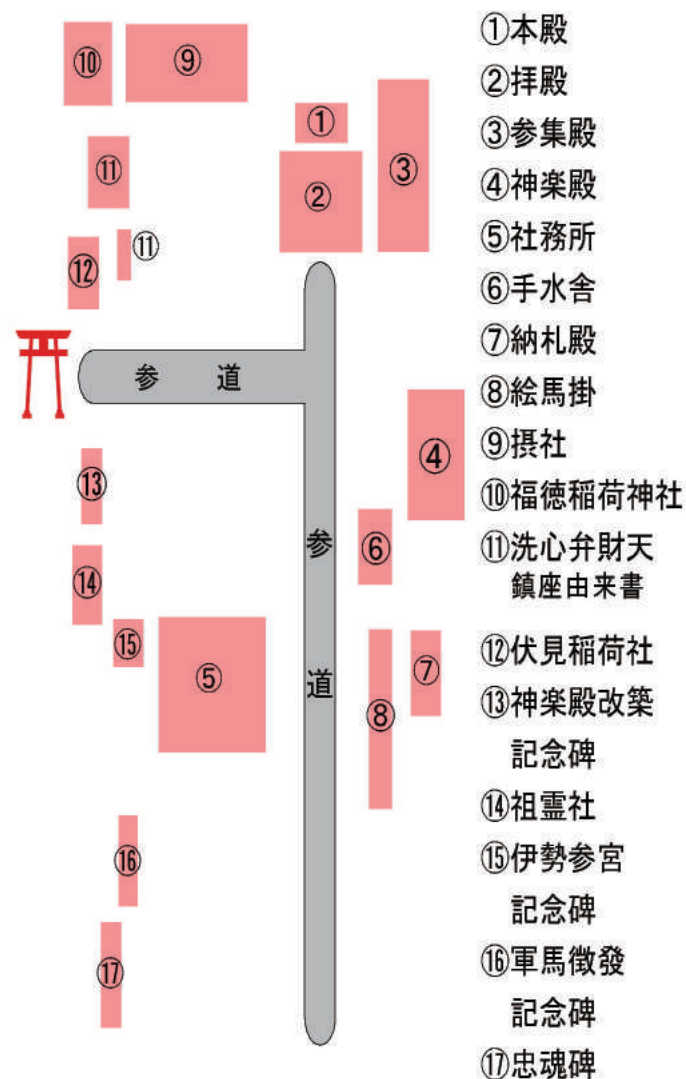


尾崎神社

参拝のしおり

鎮座地 川越市笠幡一二八〇番地
御祭神 素戔鳴尊
奇稻田姫命

境内案内図



⑨⑧⑦⑥⑤④③②①



摂社の神社名・祭神名

- | | |
|---------|--------------|
| ①・疱瘡神社 | 少彦名命 |
| ②・稻荷神社 | 倉稻魂命(宇迦之御魂命) |
| ③・天満天神社 | 菅原道真公 |
| ④・養蚕神社 | 宇氣母智命 |
| ⑤・巖島神社 | 市杵嶋姫命 |
| ⑥・御嶽神社 | 大山咋神(国常立命) |
| ⑦・三峯神社 | 伊弉諾尊 伊弉冉尊 |
| ⑧・妙見神社 | 天御中主命 |
| ⑨・琴平神社 | 大物主神 |



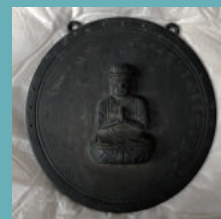
創建
当神社の創建は詳かではありませんが、日本武尊東征の折、台地はずれの見晴らしのよい所ゆえ尾崎の宮と称えて二神を祀ったと伝えている。
元正天皇の靈龜二年（七一六年）に武蔵の国に高麗郡の設置により、帰化人の持つ高い大陸文化が高麗から川越・江戸と伝わっていった古代の高麗街道沿いに鎮座せる当社は、鎌倉・室町・江戸の各時代より厚い信仰を集めている。



青銅製神社名額
榎本武揚



川越市指定文化財
天文20年（1551年）
鑄造武州高麗郡笠幡
尾崎と陰刻

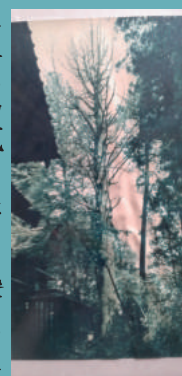
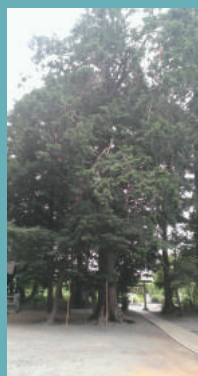


川越市指定文化財
天文20年（1551年）鑄造
大日本國武州高麗郡笠幡
尾崎と陰刻

史蹟

神社の裏に幹回り六米高さ三十米に及ぶ老杉があり御神木としていた。その根元に空洞があり大蛇が住んでいると伝えられ、周囲を三回まわると大蛇が出るという伝説があり、この木にはよほどのことがないかぎり近寄らなかった。
この老杉も昭和四十七年に枯死せるも、川越市教育委員会発行の「川越の伝説・第一集」に収録されています。

当神社の南方には小畔川の清流が西から東に流れ、境内地約四千坪の神域には、川越市の巨木として紹介されている幹周り三米の「杉」と「檜」の木を始め永年の風雪と歴史を物語る老杉等が聳えており、平成二十年六月十一日川越市緑化推進要綱第九条第一項により「保存樹林」に指定されました



主な祭事		諸 祈 願	
元旦祭	1月1日	厄 除	(方災除)
川越市指定無形民族文化財 (芳地戸のふせぎ)		家内安全	
春分の日		交通安全	(新車清祓)
例 祭	5月 3日	安産祈願	
夏越祓	6月30日前後	初宮詣	お宮参り
七夕祭	8月 7日前後	七五三詣	
秋 祭	10月15日	商売繁昌	他
新嘗祭	11月15日		

地鎮祭等の
各種出張祭典も
随時承っております。

予約（社務所）

TEL 049-233-2803

FAX 049-231-3461